



2021年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日
東

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東
 コード番号 3674 URL https://aucfan.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)武永 修一
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経営管理部長 (氏名)濱田 淳二 (TEL) 03-6809-0951
 定時株主総会開催予定日 2021年12月22日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (当社ホームページに動画掲載)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の連結業績(2020年10月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	8,344	6.0	583	△28.9	595	△26.4	151	△64.7
2020年9月期	7,874	18.7	820	20.8	808	20.4	428	31.0

(注) 包括利益 2021年9月期 △2,614百万円(-%) 2020年9月期 4,847百万円(-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	14.67	13.96	2.2	5.4	7.0
2020年9月期	41.81	41.14	7.6	8.6	10.4

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 -百万円 2020年9月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	8,487	5,458	64.2	528.08
2020年9月期	13,382	8,115	60.5	784.95

(参考) 自己資本 2021年9月期 5,451百万円 2020年9月期 8,102百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	1,175	△276	△506	3,096
2020年9月期	824	△287	813	2,704

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	5,200	△37.7	100	△82.9	80	△86.6	50	△67.0	4.84

(注) 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社（社名）－ 、除外 一社（社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	10,539,400株	2020年9月期	10,539,400株
② 期末自己株式数	2021年9月期	216,990株	2020年9月期	216,933株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	10,322,423株	2020年9月期	10,252,911株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法について）

当社は、2021年11月12日に決算説明会動画を当社ホームページにて配信する予定です。
この動画配信で利用する決算補足説明資料は、決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは「RE-INFRA COMPANY」をコーポレートアイデンティティとし、社会の様々な「RE」を統合した唯一無二のインフラを構築していくという考えのもと、祖業である価格比較メディア (aucfan.com) の運営から、BtoBの卸プラットフォーム (NETSEA)、滞留在庫・返品・型落ち品などの流動化支援サービス (ReValue (※1)) など、「RE」に関わるサービスにて事業拡大してまいりました。

近年における国内のBtoB卸売市場は300兆円 (※2) 規模と推定されており、海外においてもBtoB卸売分野でのユニコーン企業が誕生するなど、新たな潮流を観測しています。

また、SDGs (※3) に始まり、世界中で廃棄ロス問題が大きくクローズアップされており、国内でも年間約22兆円 (※4) 規模に達すると試算しております。さらにはEC化率の増加に伴い、返品市場も今後拡大すると考えられております。

これに対して、オークファングループは卸売市場におけるSMB (中小企業・個人事業主) を中心としたデジタルトランスフォーメーション (DX) 化の遅れに注目し、本事業年度は廃棄ロスの削減を課題とした取り組みを進めてまいりました。

具体的には、創業来培った売買データとAI技術により商品の時価を可視化、価格と販路を最適化する在庫価値ソリューション、SMB (中小企業・個人事業主) を中心とした小売・流通業向けに流通を支援する商品流通プラットフォームを用いて、在庫流動化支援ソリューションを展開してまいりました。卸売市場では今後DX化が必要不可欠であることを再認するとともに、廃棄ロス市場ではリバースロジスティクス (返品物流) 分野におけるリーディングカンパニーとなる絶好の機会と捉え、次期以降の伸長に向けた事業の選択と集中を進めております。

※1 2021年8月より、サービスの一部である「ReValueBtoBオークション」を「NETSEAオークション」に名称変更

※2 経済産業省 2021年7月30日発表 電子商取引に関する市場調査より推察

※3 Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)。2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき目標

※4 平成28年度法人企業統計 (財務省)などを基に当社試算

以上の結果、当連結会計年度における売上高は8,344,795千円 (前年同期比6.0%増)、営業利益は583,433千円 (前年同期比28.9%減)、経常利益は595,095千円 (前年同期比26.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は151,423千円 (前年同期比64.7%減) となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(在庫価値ソリューション事業)

当セグメントは、データを基にAI技術を活用し在庫の価値を可視化し、企業が保有する在庫価値の可視化・最適化等を推進するソリューションを提供する当社グループの基盤の一つとなるセグメントであります。

主なサービスとしては当社が保有する流通相場データを活用した『aucfan.com (オークファンドットコム)』となり、主たる収益源は有料課金収入となります。その他、EC販売支援サービス『タテンポガイド』の提供、2021年2月には、専門知識がなくても直感的に操作できるRPAツール『オークファンロボ』の提供を新たに開始しております。また、小売業の経営課題を解決する在庫管理AIソリューション『zaicoban (ざいこばん)』は、ターゲットとする大手企業への導入にリードタイムを要し売上見込が遅延していることを受け、当社グループの強みであるSMB (中小企業・個人事業主) 向けに活用する戦略に変更し、サービスを終了しております。これらの結果、売上高1,820,269千円 (前年同期比5.8%減)、営業利益342,864千円 (前年同期比6.8%減) となりました。

(商品流通プラットフォーム事業)

当セグメントは、企業の在庫・滞留商品等の流通を支援しており、複数のマーケットプレイスの運営や流通を加速させる人材育成スクールの運営等を実施しております。主なサービスとしては、BtoB卸モール『NETSEA(ネッシー)』、滞留在庫・返品・型落ち品などの流動化支援を行う『NETSEAオークション(旧 リバリューBtoBモール)』、副業・複業として物販ビジネスを行なう事業主を対象とするスクール形式の副業支援サービス『good sellers(グッドセラーズ)』がございませう。主たる収益源は、NETSEAでは流通手数料収入及び有料課金収入、NETSEAオークションでは商品販売収入となります。なお、当期より顧客ターゲットを当社グループの強みであるSMB(中小企業・個人事業主)向けに変更したことに伴い、寄付型ショッピングサイト「otameshi(オタメシ)」はサービス運営を終了いたしました。

『NETSEA(ネッシー)』及び『NETSEAオークション(旧 リバリューBtoBモール)』を中心として、流通量・利用者の増加が好調に推移しており、さらなる流通額最大化を狙った営業・開発体制の強化及び積極的なプロモーションを実施いたしました。これらの結果、売上高4,998,768千円(前年同期比3.7%増)、営業損失258,825千円(前年同期は324,252千円の営業利益)となりました。

(インキュベーション事業)

当セグメントは、事業投資及び投資先企業の支援を通じて、当社が中長期にわたり競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。

営業投資有価証券の売却、投資先企業へのコンサルティング及び新規事業の開発等を実施しており、第1四半期連結会計期間には前期に引き続き大型の営業投資有価証券の一部売却を行うとともに、第2四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間において、不透明な経済情勢を踏まえ、一部の営業投資有価証券については保守的に評価損を計上しております。また、第3四半期連結会計期間より、将来成長の基盤となる新規事業の開発を行う部門を設置しております。

これらの結果、売上高1,708,458千円(前年同期比34.5%増)、営業利益874,969千円(前年同期比73.7%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、7,638,182千円(前連結会計年度末は12,169,900千円)となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が391,879千円増加した一方で、受取手形及び売掛金が820,331千円減少、投資先株式の時価評価等により営業投資有価証券が4,298,410千円減少した結果であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、849,102千円(前連結会計年度末は1,213,044千円)となりました。主な要因といたしましては、ソフトウェアが189,816千円減少、のれんが89,256千円減少、繰延税金資産が24,278千円減少した結果であります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、2,241,972千円(前連結会計年度末は2,877,441千円)となりました。主な要因といたしましては、未払金が126,607千円増加した一方で、未払法人税等が368,893千円減少、買掛金が315,797千円減少、短期借入金が133,332千円減少した結果であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、787,270千円(前連結会計年度末は2,389,861千円)となりました。主な要因といたしましては、投資先株式の時価評価により繰延税金負債が1,280,797千円減少、長期借入金が319,976千円減少した結果であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、5,458,041千円(前連結会計年度末は8,115,641千円)となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金が151,423千円増加した一方で、投資先株式の時価評価によりその他有価証券評価差額金が2,766,127千円減少した結果であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末より391,879千円増加し、3,096,874千円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益333,282千円、減価償却費232,139千円、減損損失275,657千円、売上債権の減少額827,693千円、営業投資有価証券の減少額276,795千円、貸倒引当金の増加額272,698千円などの計上に対し、仕入債務の減少額312,086千円、法人税等の支払額599,726千円などにより、営業活動の結果獲得した資金は1,175,715千円（前年同期は824,009千円の獲得）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

貸付金の回収による収入11,125千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入5,902千円の計上に対し、無形固定資産の取得による支出265,922千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出20,435千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出19,969千円などにより、投資活動の結果使用した資金は276,757千円（前年同期は287,410千円の使用）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の返済による支出133,332千円、長期借入金の返済による支出327,786千円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出43,200千円などにより、財務活動の結果使用した資金は506,284千円（前年同期は813,361千円の獲得）となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年 9月期	2020年 9月期	2021年 9月期
自己資本比率 (%)	58.2	60.5	64.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	147.0	114.5	98.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	2.6	1.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	91.4	122.8

自己資本比率 (%) : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 (%) : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) : キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

(注4) 2019年9月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、連結キャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載を省略しております。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、卸売市場における電子商取引の増加や、アフターコロナにおける廃棄ロス問題の深刻化が引き続き継続するものと想定されることから、当社を取り巻く市場環境は好調に推移するものと思われます。

このような状況下において当社グループは、SDGsに資する再流通インフラを確立してまいります。そして、データを活用した在庫価値ソリューション事業の各サービスへの需要、及び商品流通プラットフォーム事業での各プラットフォームにおける商品流通の増加が一層高まることが予想されることから、注力事業への積極的な先行投資を実施し、事業成長を一層加速させてまいります。

以上の状況を踏まえ、2022年9月期の連結業績は売上高5,200百万円、営業利益100百万円、経常利益80百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は50百万円を見込んでおります。

* 上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、財務体質の強化並びに将来の事業展開に向けた投資等に備えるため、配当可能利益を全額内部留保とし、現在のところ配当を実施しておりません。株主の皆様に対する利益還元については経営の最重要課題の一つとして位置付けており継続的に検討を行っておりますが、当面は内部留保の充実に注力する方針とし、事業規模や収益が安定成長段階に入ったと判断された時点で、経営成績・財政状態を勘案しながら、配当による株主の皆様への利益還元に努める所存であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成しております。なお、将来の国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,704,994	3,096,874
受取手形及び売掛金	1,529,069	708,737
営業投資有価証券	7,292,436	2,994,026
商品	261,439	248,315
仕掛品	314	—
貯蔵品	536	511
未収入金	203,662	264,877
その他	210,806	611,890
貸倒引当金	△33,359	△287,050
流動資産合計	12,169,900	7,638,182
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	50,358	48,828
工具、器具及び備品（純額）	27,774	19,421
その他（純額）	6,041	5,393
有形固定資産合計	84,173	73,643
無形固定資産		
のれん	276,154	186,897
ソフトウェア	465,271	275,454
ソフトウェア仮勘定	19,740	5,644
その他	1,810	1,509
無形固定資産合計	762,976	469,506
投資その他の資産		
長期貸付金	44,175	34,049
繰延税金資産	163,619	139,341
その他	158,099	151,568
貸倒引当金	—	△19,008
投資その他の資産合計	365,894	305,952
固定資産合計	1,213,044	849,102
資産合計	13,382,944	8,487,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	404,799	89,002
短期借入金	1,133,332	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	337,108	319,976
未払法人税等	396,748	27,855
未払金	405,191	531,798
ポイント引当金	1,065	12,748
その他	199,196	260,591
流動負債合計	2,877,441	2,241,972
固定負債		
長期借入金	698,409	378,433
繰延税金負債	1,685,454	404,657
その他	5,997	4,179
固定負債合計	2,389,861	787,270
負債合計	5,267,303	3,029,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	884,082	884,082
資本剰余金	854,922	818,258
利益剰余金	2,156,591	2,308,014
自己株式	△203,171	△203,380
株主資本合計	3,692,425	3,806,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,410,224	1,644,097
その他の包括利益累計額合計	4,410,224	1,644,097
新株予約権	6,968	6,968
非支配株主持分	6,023	—
純資産合計	8,115,641	5,458,041
負債純資産合計	13,382,944	8,487,284

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	7,874,480	8,344,795
売上原価	4,748,255	4,806,695
売上総利益	3,126,224	3,538,099
販売費及び一般管理費	2,305,339	2,954,666
営業利益	820,884	583,433
営業外収益		
受取利息及び配当金	904	767
為替差益	—	805
助成金収入	665	570
受取手数料	—	18,998
その他	5,159	8,478
営業外収益合計	6,729	29,619
営業外費用		
支払利息	8,809	9,605
リース解約損	4,202	—
控除対象外消費税等	2,214	8,224
その他	3,400	126
営業外費用合計	18,627	17,956
経常利益	808,986	595,095
特別利益		
子会社株式売却益	—	34,685
新株予約権戻入益	92	—
特別利益合計	92	34,685
特別損失		
減損損失	77,156	275,657
固定資産売却損	859	—
賃貸借契約解約損	14,699	—
関係会社整理損	1,463	—
その他	0	20,841
特別損失合計	94,178	296,499
税金等調整前当期純利益	714,900	333,282
法人税、住民税及び事業税	435,454	212,377
法人税等調整額	△148,859	△31,032
法人税等合計	286,595	181,345
当期純利益	428,304	151,936
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	428,692	151,423
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△387	513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,419,610	△2,766,127
その他の包括利益合計	4,419,610	△2,766,127
包括利益	4,847,914	△2,614,190
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,848,302	△2,614,704
非支配株主に係る包括利益	△387	513

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	861,157	831,997	1,727,899	△203,171	3,217,883
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	22,925	22,925			45,850
親会社株主に帰属する 当期純利益			428,692		428,692
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	22,925	22,925	428,692	—	474,542
当期末残高	884,082	854,922	2,156,591	△203,171	3,692,425

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	△9,385	△9,385	7,130	6,410	3,222,038
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)					45,850
親会社株主に帰属する 当期純利益					428,692
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	4,419,610	4,419,610	△162	△387	4,419,060
当期変動額合計	4,419,610	4,419,610	△162	△387	4,893,602
当期末残高	4,410,224	4,410,224	6,968	6,023	8,115,641

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	884,082	854,922	2,156,591	△203,171	3,692,425
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			151,423		151,423
自己株式の取得				△208	△208
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△36,663			△36,663
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△36,663	151,423	△208	114,550
当期末残高	884,082	818,258	2,308,014	△203,380	3,806,976

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	4,410,224	4,410,224	6,968	6,023	8,115,641
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益					151,423
自己株式の取得					△208
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					△36,663
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,766,127	△2,766,127	—	△6,023	△2,772,150
当期変動額合計	△2,766,127	△2,766,127	—	△6,023	△2,657,599
当期末残高	1,644,097	1,644,097	6,968	—	5,458,041

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	714,900	333,282
減価償却費	242,021	232,139
のれん償却額	115,135	112,410
減損損失	77,156	275,657
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△24,344	272,698
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△2,797	11,683
受取利息及び受取配当金	△904	△767
支払利息	8,809	9,605
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△34,685
固定資産売却損益 (△は益)	859	—
賃貸借契約解約損	14,699	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△516,810	827,693
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	354,199	276,795
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△136,960	△96,638
仕入債務の増減額 (△は減少)	150,000	△312,086
未払金の増減額 (△は減少)	72,303	109,692
その他	△73,371	△233,234
小計	994,895	1,784,246
利息及び配当金の受取額	904	765
利息の支払額	△9,019	△9,570
賃貸借契約解約による支払額	△14,699	—
法人税等の支払額	△148,072	△599,726
営業活動によるキャッシュ・フロー	824,009	1,175,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△7,519	△7,557
無形固定資産の取得による支出	△300,842	△265,922
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	5,902
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△20,435
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△19,969
差入保証金の回収による収入	13,893	900
差入保証金の差入による支出	△100	△600
貸付金の回収による収入	10,185	11,125
その他	△3,027	19,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△287,410	△276,757

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,700,000	—
短期借入金の返済による支出	△866,668	△133,332
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△435,652	△327,786
社債の償還による支出	△125,000	—
自己株式の取得による支出	—	△208
新株予約権の行使による株式の発行による収入	45,780	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△43,200
リース債務の返済による支出	△2,682	△1,757
その他	△2,416	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	813,361	△506,284
現金及び現金同等物に係る換算差額	537	△795
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,350,498	391,879
現金及び現金同等物の期首残高	1,354,496	2,704,994
現金及び現金同等物の期末残高	2,704,994	3,096,874

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において独立掲記しておりました「特別損失」の「固定資産除却損」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「特別損失」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「特別損失」の「固定資産除却損」に表示していた0千円は、「その他」として組み替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において独立掲記しておりました「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「固定資産除却損」は、金額的重要性が乏しくなったため、当連結会計年度より「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「固定資産除却損」に表示していた0千円は、「その他」として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「在庫価値ソリューション事業」、「商品流通プラットフォーム事業」及び「インキュベーション事業」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属するサービスの内容は、以下のとおりであります。

① 在庫価値ソリューション事業

価格比較メディア「aucfan.com (オークファン)」や流通相場データを活用した「オークファンプロPlus」、専門知識がなくても直感的に操作できるRPAツール「オークファンロボ」、複数のEマーケットプレイスへの同時出品・在庫連動等が可能なASPサービス「タテンボガイド」等

② 商品流通プラットフォーム事業

BtoB卸モール「NETSEA (ネッシー)」、滞留在庫・返品・型落ち品などの流動化支援サービス「NETSEAオークション (旧リバリューBtoBモール)」、副業・複業として物販ビジネスを行なう事業主を対象とするスクール形式の副業支援サービス『goodsellers (グッドセラーズ)』等

③ インキュベーション事業

上記事業と関連性の高い事業への投資実行 (キャピタルゲイン) 及び同事業へのコンサルティングサービスの提供等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースであり合計額は連結損益及び包括利益計算書の金額と一致しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,789,412	4,814,983	1,270,084	7,874,480	—	7,874,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	142,899	6,214	—	149,113	△149,113	—
計	1,932,311	4,821,198	1,270,084	8,023,594	△149,113	7,874,480
セグメント利益	367,824	324,252	503,625	1,195,702	△374,817	820,884
セグメント資産	674,895	2,824,584	7,331,581	10,831,060	2,551,884	13,382,944
その他の項目						
減価償却費	151,058	81,158	—	232,217	9,803	242,021
のれん償却額	—	115,135	—	115,135	0	115,135
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	234,576	76,618	—	311,194	6,485	317,679

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△374,817千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
 - (2) セグメント資産の調整額2,551,884千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社資産(現金及び預金、管理部門に係る有形固定資産等)が含まれております。
 - (3) 減価償却費の調整額9,803千円、のれん償却額の調整額0千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額6,485千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産(管理部門に係る有形固定資産等)が含まれております。
2. セグメント利益は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,699,839	4,942,411	1,702,543	8,344,795	—	8,344,795
セグメント間の内部 売上高又は振替高	120,430	56,357	5,915	182,702	△182,702	—
計	1,820,269	4,998,768	1,708,458	8,527,497	△182,702	8,344,795
セグメント利益又は損失 (△)	342,864	△258,825	874,969	959,008	△375,575	583,433
セグメント資産	418,063	2,619,790	3,091,111	6,128,964	2,358,320	8,487,284
その他の項目						
減価償却費	154,645	68,144	—	222,790	9,349	232,139
のれん償却額	—	109,427	2,652	112,079	331	112,410
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	192,927	73,503	—	266,431	3,868	270,299

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失 (△) の調整額△375,575千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
- (2) セグメント資産の調整額2,358,320千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社資産(現金及び預金、管理部門に係る有形固定資産等)が含まれております。
- (3) 減価償却費の調整額9,349千円、のれん償却額の調整額331千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額3,868千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産(管理部門に係る有形固定資産等)が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	合計
外部顧客への売上高	1,789,412	4,814,983	1,270,084	7,874,480

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SBI証券 (注) 2	1,231,246	インキュベーション

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 営業投資有価証券の売却による売上金額を記載しております。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	合計
外部顧客への売上高	1,699,839	4,942,411	1,702,543	8,344,795

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
野村證券株式会社 (注) 2	986,400	インキュベーション

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 営業投資有価証券の売却による売上金額を記載しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計	全社・消去	合計
減損損失	52,299	24,857	—	77,156	—	77,156

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計	全社・消去	合計
減損損失	235,943	39,714	—	275,657	—	275,657

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計	全社・消去	合計
当期償却額	—	115,135	—	115,135	0	115,135
当期末残高	—	276,154	—	276,154	0	276,154

(注) 「全社・消去」の金額は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係る当期償却額、未償却残高であります。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計	全社・消去	合計
当期償却額	—	109,427	2,652	112,079	331	112,410
当期末残高	—	169,991	—	169,991	16,906	186,897

(注) 「全社・消去」の金額は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係る当期償却額、未償却残高であります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)及び当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	784.95円	528.08円
1株当たり当期純利益	41.81円	14.67円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	41.14円	13.96円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	428,692	151,423
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	428,692	151,423
普通株式の期中平均株式数(株)	10,252,911	10,322,423
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	166,843	521,306
(うち新株予約権(株))	(166,843)	(521,306)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	8,115,641	5,458,041
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	12,991	6,968
(うち新株予約権(千円))	(6,968)	(6,968)
(うち非支配株主持分(千円))	(6,023)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,102,649	5,451,073
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	10,322,467	10,322,410

(重要な後発事象)

該当事項はありません。